



議会だより

Vol.122



様々な想いを胸に、希望溢れる未来へ

1. 二十歳を祝う会 P2～3
2. 定例会のあらまし／議案審議結果 P4
3. 議員活動出席状況 P5
4. 一般質問 P6～10
5. 議員視察活動 P11～13
6. 田子小学校150周年 P14

輝かしい未来へ

令和7年1月12日
田子町二十歳を祝う会



令和7年田子町二十歳を祝う会が行われました。中央公民館のホールには振り袖姿・スーツ・袴姿の二十歳を迎える28人が集まりました。恩師や友達との再会を懐



様々な夢・想いを胸に
感謝の気持ちを忘れない



二十歳の門出を祝う

懐かしさの中にちょっぴり恥ずかしい気持ちも

かしむ声や、写真を撮り合うなど、会場から笑顔が溢れていました。
式典では新たな門出を迎え、引き締まった顔で未来を見つめる姿がステキでした。



大人になった
私たちの未来は



一生に一度の特別な日



P2～P3

定例会／審議結果

P4

議員活動出席状況

P5

一般質問

P6～P10

議員視察活動

P11～P13

令和6年田子町議会定例会 臨時会あらまし

定例会

令和6年第4回定例会が12月3日から12月6日までの4日間の会期で開催されました。

12月3日には諸般の報告、議案の上程・説明がされました。

12月4日の一般質問には4名の議員が登壇し多岐にわたり活発な議論がかわされました。

12月6日には、議案の審議、人権擁護委員の候補者の推薦、議員派遣の件、各常任委員会に係る所管事務調査の承認が行われました。

追加提案が1件ありました。

臨時会

令和7年第1回臨時会が1月14日に開催され、議案1件の上程・説明・審議が行われました。

下記、議案等の採決結果については、時系列となります。

議案番号	議案等の採決結果 件名と主な内容 賛成・・・○ 反対・・・× 欠席・・・欠 退席・・・退 議長は採決に加わらないため・・・－	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		議決結果	尾形 憲男	桃本 義見	宮村 尚哉	欠端 則夫	山崎 美代志	欠 員	山崎 一義	菊地 健二	中平 美賀子	澤口 勝
令和 6 年田子町議会第 4 回定例会												
報 告 第12号	○専決処分した事件の報告について（令和 6 年度田子町一般会計補正予算（第 5 号）について・・・衆議院解散に伴う選挙費等	原案承認	○	○	○	○	○	／	欠	○	○	－
議 案 第52号	○田子町犯罪被害者等支援に関する条例の制定について・・・被害者等基本法に基づき、制定するもの	原案可決	○	○	○	○	○		欠	○	○	－
議 案 第53号	○田子町国民健康保険条例の一部改正について・・・行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の一部が改正されたため	原案可決	○	○	○	○	○		欠	○	○	－
議 案 第54号	○田子町固定資産評価審査委員会委員の選任について・・・固定資産評価審査委員会委員を選任するため	原案可決	○	○	○	○	○		欠	○	○	－
議 案 第55号	○青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合同約の変更について・・・西北五環境整備事務組合が解散するため規約を変更するもの	原案可決	○	○	○	○	○		欠	○	○	－
議 案 第56号	○青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合同約の変更について・・・西北五環境整備事務組合が解散するため規約を変更するもの	原案可決	○	○	○	○	○		欠	○	○	－
議 案 第57号	○令和 6 年度田子町一般会計補正予算（第 6 号）について・・・森林環境譲与税交付額決定、住民情報システム改修費等によるもの	原案可決	○	○	○	○	○		欠	○	○	－
議 案 第58号	○令和 6 年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第 3 号）について・・・人件費、財源の振替、健診業費確定による返還金等によるもの	原案可決	○	○	○	○	○		欠	○	○	－
議 案 第59号	○令和 6 年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第 2 号）について・・・人件費、前年度保険料超過分繰入、前年度地域支援交付金確定による精算分等によるもの	原案可決	○	○	○	○	○		欠	○	○	－
議 案 第60号	○令和 6 年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第 3 号）について・・・コロナウイルス感染症予防接種委託料、診療所施設改修費等によるもの	原案可決	○	○	○	○	○		欠	○	○	－
議 案 第61号	○令和 6 年度田子町一般会計補正予算（第 7 号）について・・・小・中学校正面玄関のセキュリティ強化に伴う施設費によるもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	－
令和 7 年田子町議会第 1 回臨時会												
議 案 第 1 号	○令和 6 年度田子町一般会計補正予算（第 1 号）について・・・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業に係る予算	原案承認	○	○	欠	○	○	／	○	○	○	－

議員活動出席状況

地方議会議員の活動は、単に本会議（定例会・臨時会等）などの会議に出席し、議案の審議などを行うだけでなく、当該地方公共団体の事務に関し調査研究するための研修会等の活動や、住民代表として住民意思を把握するための活動等、広域的かつ多岐にわたります。

会議等の名称	派遣場所	派遣期間	派遣議員
田子町神楽養成講座成果発表会	田子町	11月10日	澤口
東京田子会	東京都	11月23日	澤口・梶本 欠端・山崎（美）
田子小学校創立150周年記念式典	田子町	11月24日	尾形・山崎（一） 菊地・中平
229スキーランド安全祈願祭	田子町	12月8日	澤口・尾形・宮村 欠端・山崎（一）
女子相撲全国大会優勝祝賀会	田子町	12月14日	澤口・尾形・宮村 山崎（一）・中平
産業・民生常任委員会視察	田辺市	12月16日	欠端・尾形 梶本・山崎（美） 山崎（一）・澤口
世紀越えトンネル協議会 秋田県知事要望	秋田市	12月24日	澤口・尾形 山崎（一）・菊地
田子町出初式	田子町	1月4日	全議員
田子町新年を祝う会	田子町	1月10日	尾形・宮村・ 山崎（一）・菊地・ 中平
二十歳を祝う会	田子町	1月12日	全議員
第31回連携中枢都市圏の形成に関する講演会	階上町	1月15日	澤口・尾形 菊地・中平
世紀越えトンネル協議会 中央要望	東京都	1月16日	澤口・尾形 欠端・山崎（一） 菊地

議会を傍聴しませんか！！

田子町では3月に第1回定例会、6月に第2回定例会、9月に第3回定例会、12月に第4回定例会が行われ、随時、臨時会が開かれます。定例会は一般質問を含め会期中は、基本的に傍聴することができます。

※開会は前月末に行われる場合があります。

※T C Vでは編集して放送しています。

※会期日程については田子町役場ホームページをご覧ください。

一般質問

12月定例会では12月4日に一般質問が行われ、

4人の議員が町政について質問をしました。

内容は、質問した議員が要約し広報委員会が調整したものです。

ＴＣＶでは録画放送を行っていますので、ぜひご覧ください。

○欠端議員・・・P7

- ・国の新事業災害時の備品等について
- ・鳥獣害対策の検討事項

○中平議員・・・P8

- ・高齢者単独ひとり暮らし対策

○宮村議員・・・P9

- ・道の駅構想について

○山崎議員・・・P10

- ・にんにく振興について
- ・にんにく音頭及びふるさと讃歌等の活用について
- ・不登校について
- ・有害鳥獣被害対策（駆除）について

○一般質問は、町政全般にわたり疑問点を問いただし、町の様々な仕事について報告・説明を求め、町政のチェックを行う大事な議員活動の場です。

・質問の時期

定例会において行われ、臨時会では許可されていません。

・質問の通告

質問する議員は期限までに通告書を作成します。通告書は議長の許可を得て町長部局へ配布されます。議場において通告書に記載された以外の質問をすることはできません。

・質問の要領

質問はあくまで質問に徹するべきで、要望やお願い、お礼の言葉を述べることは慎むべきとなっています。

一般質問って？



欠端 則夫 議員

災害時における 対応について

国の新事業災害時の 新事業について

Q 災害時の国の新事業の内容について伺いたい。

A 国では新たな地方創世のため、新しい地方経済創生本部を立ち上げ会議を開催し防災の取り組みを支援する方針が示された。主な内容として快適なトイレ・温かい食事の提供・間仕切りや簡易ベッド等避難所の環境改善を図る事としている。現段階では具体的な内容は地方自治体にも示されていないので詳しい事はお示しできません。

まれたら我が町でも業者を募り、国の事業に町の補助を加え導入を図るべきと思うが町ではどう考えるか？

A 温かい食事が提供されることは良いことだと思われるが、キッチンカーの使用を誰が行うか、又緊急時だけでは無く普段の利用をどうするのか等考えなければならぬ事が多々ありなかなか難しい。国の事業内容等も考え検討していきたい。

Q この事業で段ボールベットや食料品等のさまざまな物を多少増やしてはどうか。

A 県の災害備蓄指針において、当町の想定避難者は330人で3日間を避難して過ごせる様物資を備蓄する事としている。町の備蓄の主な物はアルファ米、飲料

水、スープ、パン、ゼリー、乳児用粉ミルク、乳幼児用及び大人用おむつ、マスク、毛布、畳マット、間仕切り、携帯トイレ等を備蓄している。今後国の導入支援の内容が示されたら備蓄品の充実を図りたい。

鳥獣被害について

Q 当町では害獣駆除に特別手当を支払う事となった。今までのどれ位の頭数・金額が出されているか？

A 今年度有害駆除された害獣はクマが4頭、イノシシが14頭、ニホンジカが1頭、支出金額は町では当初予算を計上していたが、県で実施する事となり、県で1頭1万8千円を猟友会に対して交付する事となった。そのため県の事業中は町の予算は使用しない。

Q 町の支出分も支払うべきではないか？

A 両方からの支出は考えていない。

Q ハンターとの意思疎通をさらに図るため、どのように考えを進めて行くのか？

A 毎年度初めに各団体で構成している田子町有害鳥獣被害対策協議会を開催し被害防止策の確認と情報交換等を実施。又猟友会の総会にも参加しコミュニケーションを取り普段から協議出来る体制は整っている。一層町民からの理解と目撃情報の提供をお願いしたい。





宮村 尚哉 議員

人を呼び込む工夫と

地域活性化

道の駅のカタチと可能性

Q ファーマーズマーケットをコロナ禍の影響を鑑み、2年間の延長を含みの5年間やってきたが、その結果をお伺いいたします。

A 実証成果としては、産直販売における売上高は、年々売上を伸ばし、コロナ禍においても大幅な減少はなく、横ばいで推移した。また、6次産業化の視点では、新作物の栽培、新たな加工品開発などの実証的実験を通し、チャレンジ意識が醸成され、産業へ携わる人の掘り起こしと、6次産業化に関わる人材の育成が図られた。このほか、農産物や加工品などを提供する食の拠点として、県内外からも認知され、関係、交流、応援人口の増加につながった。

Q 道の駅構想を凍結して3年になるが、今後どうするのかを、町長の考えをお伺い。

A 様々な要因もあり令和2年度に道の駅構想は凍結する方針とした。しかし、産業を強化し、持続可能な産業構造を作っていくため、道の駅構想に掲げた計画・必要機能としては、各々の施策として継続して取り組んでいる。一方で、昨今の経済情勢は、物価高騰等により依然として厳しいことから、経済物価動向等を引き続き注視する必要がある、財政状況と今後の見通しでは、物価高騰への対応に係る経費のほか、老朽化した公共施設等の更新に要する経費が多額となっていることから、現時点では、道の駅構想の施設建設は、不透明であることをご理解願います。

Q 5年間の中で、関係人口、交流人口、応援人口の増加につながっているとあるが、具体的な数値は出ているのか。

A 来店者数については、令和2年度から独自調査を行い令和5年度までの総数は14万5700人となり、内外の別では、町内の方が約5万8千人、町外の方が8万7千人となり、町内の方が4割町外の方が6割です。

Q 道の駅構想は当初、トイレ、休憩、産直がメインだったが、震災後は目的が変わってきている。防災の拠点としての機能を備え、そして、福祉の拠点としても考慮し旧老人センター等の機能も備えて、福祉、防災、産直、この3本柱でどうかとは思いますが、これに対して町長の考えは。

A 当初はなかった要素が増えてきていると感じますし、地域防災や福祉という面で非常に大事なものであることは認識している。もし作るのであれば、ぜひ一体的に作っていききたい。

Q この道の駅を起爆剤として何ができるのか。全国の成功割合は7割と出ているが、産直の実証実験を次につなげるように3本柱の複合的な施設としてやる考え方もあると思う。

A 実証実験で分かってきたこと、田子町も工夫しさえすれば人が来る場所だということ。それらを道の駅展開に生かすことが大きなきっかけとなり様々な可能性が増えていく。それは否定されるべきではなく、今後もしっかりと持つべきだと考えている。しかし財政的な問題で、足踏みしているが、いずれ実現しなくてはいけないし、いつまでも検討するものではない。この考え方は失わずに、しっかりと機会を狙っていききたいと考えている。



中平 美賀子 議員

課題解決へ向けて 取り組むべきこと

高齢者独居・ ひとり暮らし対策について

Q 令和6年10月、総務省人口推計が公表されて、国立社会保険人口問題研究所より2・5人に1人が65歳以上、4人に1人が75歳以上になると発表されました。それにともないわが町を取り巻く環境も急速に変化していることから、町ではどのようにとらえているのか、また、高齢者単独、ひとり暮らし対策について現状の取り組みについて伺います。

A 高齢者についてまず初めに、田子町における高齢者の人口は、2182人で、町の人口に占める65歳以上の割合は45・3%、75歳以上は、24・85%となっております。2・2人に1人が65歳以上、そして、4人に1人が75歳以上の

高齢者となっている。また、地域包括支援課の調べでは、ひとり暮らしをされている65歳以上の高齢者の人口は、令和6年3月末時点において372人。65歳以上の高齢者に占める割合は、16・8%となっている。この372人の数字につきましては、住民基本台帳において、ひとり暮らしとなっている、施設の入所や住所をおいたまま居住が確認できない方を除いた数字となっており、ここ数年は370人程度で推移している。高齢者のひとり暮らしの現状となりますと、日常の生活において、病気やケガ、認知症などの発見の遅れ、お悩みや困りごとを相談する機会の減少のほか、収入の減少による生活困窮などが心配される所です。町の取り組みといたしましては、高齢者等の社旗的孤立の解消に向け、地域のサロン活動や自治会活動のほか、民生委員が

らの連絡などを通じた地域の見守り活動により生活困難者の情報を得ながら対応に取り組んでいる。相談業務の周知につきましては、各自治会の総会において「町が取り組む予定の主な事業」の中でご紹介しているほか、ケーブルテレビや行政配布によりお知らせしているほか、議員の皆様からも、お悩みごとやお困りごとを抱えている町民の方をお見かけした際は、せせらぎの郷にご相談くださるようお願いさせていただきたいと考えています。なお、これからの課題につきましては、保健医療福祉推進協議会の各専門部会でも、課題の解決に向けて検討しているところであります。町は、令和2年3月策定の「まち・ひと・しごと創生」田子町長期人口ビジョンにより、人口全体に占める65歳以上の高齢者の割合が2030年には50%を超えることが推測されており、高齢者のひとり暮らしであっても、地域で支え合い、生きがいと安心をもって暮らすことができよう、地域共生社会の実現に向け今後も取り組みます。

Q 自治会の活動やサロン活動など参加したくてもできない人に対してはどう取り組んでいますか。

A サロン活動や自治会の取り組みにより孤立を防ぐと考えています。よって参加を促すとともに活動について周知していきたい。



全国的な問題となっている



山崎 一義 議員

にんにく振興等の 現状と対策について

にんにく振興について

Q 令和6年産の出来の状況について伺う。

A 収量は平年並み、品質はA品率が多くて品質が少ない。おんぶ症や割れの発生も少ない状況である。

Q 「たっこ1号」の栽培試験結果と成果について伺う。

A 窒素量を少なめにし栽培したところ、おんぶ症の発生が低減した。植付深は12cmで実施したところ、割れは低減するが、球伸びが悪くなる傾向のため、引き続き試験が必要である。

Q イモグサレセンチュウの被害状況を伺う。

A 被害は5haほどで発生し、平年と同様の面積である。

にんにく音頭及びふるさと 讃歌等の活用について

Q 「にんにく音頭」について活用実績や今後の活用について伺う。

A 活用について検討し、にんにく収穫祭で曲を流した。今後関係者と協議し収穫祭やほかのイベント等に活用できるように検討していく。

Q 「ふるさと讃歌」の今後の活用について伺う。

A グループが解散し活動はしていない。今後は、会員だった方々から聞き取りや協議を行い、活用出来るか検討して行く。

不登校について

Q 田子町の不登校の状況で、①10年間の推移は。②行った対策は。③今後の対策についてを伺う。

A ①昨年度は小・中で5名で10年間の延べ人数は35名である。②スクールカウンセラー等の派遣支援。関係部署と連携し、情報共有と検討を行い、支援につなげている。③関係機関と諸方面からの対応を今後も継続し、学校内の環境づくりや支援の仕組みづくりに取り組んでいく。

有害鳥獣被害対策 (駆除) について

Q ①ハンターの育成確保及び報酬等の検討について。②役所からの駆除依頼を断られない対策を検討しているか伺う。

A ①銃猟免許保持者は14名で減少している。確保に向け、試験や猟銃購入、保管ロッカー等購入経費に補助を実施。報酬等につ

いては、駆除を実施する際の経費を予算に計上している。②猟友会は無くてはならない団体であり、必要に応じて対策協議を開催し、対策を強化していく。

Q 副町長を委員とした検討委員会を設置することも一つの方策と考え提案します。

A 提案として受けとめ、検討します。

ハンターの担い手不足は
広域的な問題となっている



食と踊りで、
田子町をアピール！！



令和6年10月26日
2024なかの東北絆まつり

東京都中野区で開催された「2024なかの東北絆まつり」では、東北各地の名産品やB級グルメ、郷土芸能が大集結しビルに囲まれた一角を東北色に染め賑わっていました。

我が田子町も「田子にんにく」等の販売やナニヤドヤラを披露して会場を大いに盛り上げていました。

(欠端 則夫)



元気な田子人！！故郷を思う気持ちを忘れない

令和6年11月23日
第39回東京田子会総会
及び交流会

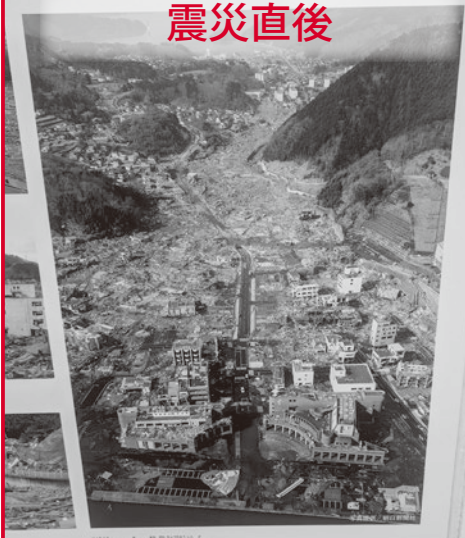


総務・文教常任委員会では、官・民が連携して町の様々な課題解決に向けて活動を展開している宮城県女川町を視察してきました。震災からの復興を目指す段階で、古い思想を捨て新しい変化を恐れず進むことで、町全体で未来を生きる力へ取り組んでいました。

令和6年9月25日
総務・文教常任委員会視察
宮城県女川町



震災直後



ベテランが盾となり、若い力が
全力を出せる地域性へと変化！！



震災遺構：旧女川交番



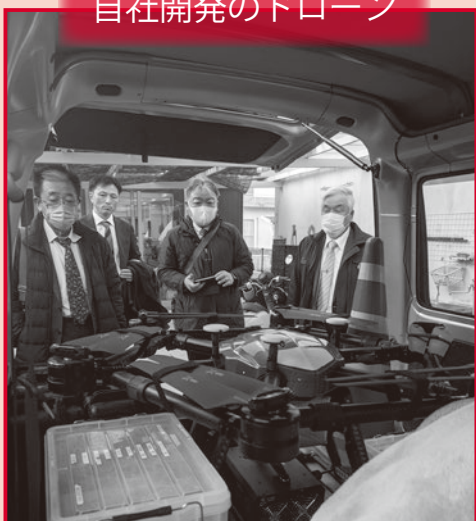
商店街復興に後から道の駅としての
付加価値を追加している



令和6年9月20日 産業・民生常任委員会視察 和歌山県田辺市



自社開発のドローン



身近なモノをトリガーに
様々な変化を自分たちが楽しむ！！



木を切らない林業
木の国・和歌山県
育林
働き手の確保
自分たちがつまらない事
はしない。楽しまなければ
意味が無い
地域・世代を問わず全体
を巻き込んだ取り組み
長期的なサイクルによる
里山の再生。最終的には防
災にも繋がる
育林は育人「森を育てる
ことは人を育てる」



田子小学校創立150周年記念式典



創立150周年にあたり記念誌刊行や、児童による「田子神楽」が披露されました



つばやき

現在の田子町では、少子化や若者の町外への転出等により人口減少が加速的に進んでいます。このことから、町の中心産業である農・林業をはじめ医療や教育関係など様々な分野で問題が生じております。国や県においてもこれらの解決に向けて取り組んでおりますが、我が町では、国や県の事業を積極的に推進する事はもとより、小さな町だからこそ行える独自性のある事業の実施が必要であると考えます。若者が町で働き・生活できる環境づくり、財政支援を含む子育てしやすい環境づくりなどを進めることは町の活性化に大きく寄与することと考えております。(菊地 健二)

発行・編集責任者

議長 澤口 勝

議会広報編集委員会

(122号)

委員長 宮村 尚哉

副委員長 欠端 則夫

委員 尾形 憲男

菊地 健二

山崎 一義

執筆協力

中平美賀子

■発行／田子町議会 青森県三戸郡田子町大字田子字天神堂平81 TEL 0179-20-7121 FAX 0179-32-4294

■編集／田子町議会広報編集委員会 ■メールアドレス takko0601a@town.takko.lg.jp 【印刷】 有限会社赤坂コピーライツジム